

**令和5年度**  
**自己点検・自己評価/学校関係者評価 報告書**  
(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和6年6月1日

**専門学校浜松医療学院**

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念	令和5年度 重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p style="text-align: center;">【 教育理念 】</p> <p>学問を通して自己を磨き、豊かな人間性をはぐくみ、優れた感性と理性を養い、新しい時代に求められる医療人を育てる。</p> <p style="text-align: center;">【 アドミッションポリシー 】 (教育の理想とする学生像)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学業に対して意欲的・自主的に学べる者</li> <li>2. 社会の一員として、基本的なルール・マナーを身に付けている者</li> <li>3. 対人関係を良好に作り出していくコミュニケーション能力がある者</li> <li>4. 人の痛みや苦しみを理解できる者</li> </ol>	<p style="text-align: center;">【 学生教育の改善 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある教育の展開およびカリキュラムの改善により選ばれる学校づくりに取り組む。</li> <li>・ 業界・学生のニーズに即した就職指導と支援体制をつくり、専門職内定率を高める。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 学生募集充足率向上 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標定員確保に向けた募集活動を実践する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 計画的学校運営の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来ビジョンを見据えて、第一期中期計画最終年度として目標値の達成に向けて活動する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【 学生教育の改善 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある教育とカリキュラム改善＝中期的課題として取り組みを継続する。</li> <li>・ 退学者率：4.3% (0.9%減)</li> <li>・ 国家試験合格率 鍼灸学科：91.2% (+11.7%) 柔道整復学科：86.7% (-3.6%)</li> <li>・ 認定試験合格率 アスレティックトレーナー学科 理論試験：50% 実技試験：75%</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 学生募集充足率向上 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定員充足率：89.3% 前年比-2.7%</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 計画的学校運営の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一期中期計画の総合評価から次期改善に向けて第二期中期計画の立案する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【 課題 】</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会全体は徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつあるが、社会の生活様式の変化も大きい。可視が難しく、且つ目まぐるしく変化する未来に適応する学校運営が、今後の課題といえる。</p> <p style="text-align: center;">【 解決方法 】</p> <p>職員一人ひとりが個々で考えながら、各部署～学校全体に波及する課題解決体制をつくり、多面的に改善活動に取り組む組織作りを継続する。令和3～5年度で取り組んだ第一期の活動結果を分析し、それに基づく次期3年度の計画を立案して着実に実行する。</p>

### 【 自己点検・自己評価報告書記載に関する事項 】

教職員 27 名を対象に専門学校等評価基準 Ver.4.0 (特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構：学校評価ハンドブックより) における全点検項目についてアンケート調査を実施した。各課題については次年度の改善活動につなげることを目的としてアンケート調査で得られた意見を参考に取り纏めて記載している。

＜ 大項目基準 1 教育理念・目的・育成人材像 ＞

◆点検中項目 1 理念・目的・育成人材像

小項目	自己点検・自己評価	備考
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校ホームページにも各項目を記載し、学内外への周知にも努めている。また、アドミッションポリシーを各教室に掲示することで学生全体の目標像として浸透を図っている。	
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学校評価専門部会ならびに教育課程編成専門部会での意見を参考に、教育・指導内容の充実に向けて定期的な協議を実施している。	医療人としてだけでなく社会人としても求められる力を養う教育にも力を入れたい。
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	教職員ひとりひとりが理念を意識しながら、臨床現場で活かせる現場実習や附帯教育・特別講座の充実を図っている。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療・健康・スポーツ・美容・介護分野で活躍できる人材育成を目標としている。将来構想を具現化する取り組みを確実に進めることが求められる。	社会から求められる医療としての資格認知度向上の取り組みについては業界との協力が不可欠となる。

基準 1 大項目総括	学校関係者評価
コロナ禍からの急速な情報技術の発展に伴い、社会生活だけでなく教育分野も変化をしている。IT や AI の進歩により更なる変化が予測される時代に入り、変化に応じて社会が求める人材像も変わってくる。職業の未来も見据えながら求められる人材を輩出できる教育を展開したい。	現状においては変化に対応する教育に取り組まれていると評価できる。引き続きの継続を期待する。

< 大項目基準 2 学校運営 >

◆点検中項目 2 運営方針

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	中期運営計画第一期 3 ヶ年の総括年度として、おおむね計画に沿った結果を残すことができた。令和 6 年度からの第二期計画により目標達成に向けた運営を継続したい。	

◆点検中項目 3 事業計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校運営計画の重点目標をベースとして各部署・各学科にて達成に向けて臨んでいる。	より細部にわたる計画と着実な実行が必要になる。

◆点検中項目 4 運営組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人は 2 校（本校・富士校）を統括的に運営している。また円滑な組織運営に向けて設置した理事と両校管理職による定例協議会は学校運営にとって重要なものになっている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織整備は法人本部との協議により行っている。また運営組織図を学生便覧にて明示している。	令和 6 年度の法人事業計画として適材適所の人材配置が掲げられている。

◆点検中項目 5 人事・給与制度

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	令和6年度より新たな就業規程・給与規程への変更がなされた。職員が制度をより明確に理解できるよう、法人から説明の機会を得られるよう働きかけたい。	

◆点検中項目 6 意思決定システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学内における意思決定は各種会議（部長会、運営会議、教務委員会）での協議のもと学院長による最終決定がなされている。法人の意思決定は寄付行為により評議員会・理事会で行うことが定められている。	

◆点検中項目 7 情報システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	法人・学内で共通のグループウェアを使用することにより、学内業務だけでなく、各種申請等も効率化や一元管理化が図られている。将来的には法人内の両校で共通した教育管理システムを導入するよう協議を進めたい。	

基準 2 大項目総括	学校関係者評価
新たに立ち上げた協議会は法人本部と学校間の意思疎通と連携の場として有効である。今後は私立学校法改正も控えているため、円滑な運営と連携体制の強化に向けてさらに取組みが進むことを期待する。	年を経過するごとに学校法人と学校との円滑な運営に向けた取り組みに良い変化がみられる。今後も両者の意思疎通がより充実することを望む。

< 大項目基準3 教育活動 >

◆点検中項目8 目標の設定

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程編成部会を設置し、外部委員（公益社団法人理事職）の意見も参考にしながら改善策を検討している。	学校協会ではカリキュラム改訂に向けた厚労省との協議が進められている。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	各学科長が中心となり、学科全体・学年担任との協議により教育の到達目標を定めている。年度末の学生成績評価の結果から翌年度に向けた見直しを図っている。	

◆点検中項目9 教育方法・評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成部会および教務委員会で対応している。学生の学業修得と資格取得に向けてより良い教育課程が編成できるよう見直しを進める。	カリキュラム改訂の進行状況にあわせて教育課程の編成を見直す。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成専門部会委員を各公益社団理事職より選任することにより外部の意見反映につとめている。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	新生生の入学前授業からはじまり、各学年次でも職業観を育成する教育内容の充実を図り、3年間を通じて取り組むようにしている。	低学年層のキャリア教育内容を充実させたい。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-4 授業評価を実施しているか	各期（前・後期）にて授業評価アンケートを実施している。実施アンケート結果は教務部・学科長で共有を図り、各専任教員へフィードバックしている。	授業改善の参考になりえるアンケート項目への変更も試みる。

◆点検中項目 10 成績評価・単位評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・単位認定基準は学生便覧に試験規程として記載している。各定期における学力形成目標達成のため、補習ならびに学力考査を実施している。学生には最後まで諦めない姿勢を持ってもらえるよう取り組んでいる。	初年次からの学力対策に取り組む準備をしている。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の学術発表や各種大会等への参加結果は、校内に掲示物や表彰物展示などで周知している。※日本赤十字社静岡支部の救急法競技会において前年度に引き続いて学内クラブが総合優勝（二連覇）を果たした。	

◆点検中項目 11 資格・免許の取得支持体制

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	本校の教育課程最終目的は国家資格・認定資格の取得であり、明確化されている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	各学年における到達目標を達成し、最終学年（3年生）では模擬試験と各成績結果による学習指導を実施している。模擬試験成績結果をもとに学生との個別面談を行い、学習の悩みや躓きの把握にも努めている。	

◆点検中項目 12 教員・教員組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	すべての教員および講師は資格・要件を備えている。新規採用等においては管轄機関への資格要件確認を欠かさず行っている。	教員組織の年齢構成も踏まえた計画的な人員確保の課題解決が求められる。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	アンケート回答における昨年度比（％）で大幅に改善が得られていた。育成人財像の達成につながる学科ごとの研修内容の選定と計画性のある実行が必要になる。	個々の教員間での研修意欲の差を是正できるよう取り組む。



小項目	自己点検・自己評価	備考
4-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員は各学科に配属されて、学科長を中心に組織的に活動している。また、教務部長と学科長で組織される教務委員会での協議により、教員全体で組織的な取り組みを行えるようにしている。 ※学生に充分対応できるようにしたい。	

基準 3 大項目総括	学校関係者評価
政府の掲げる働き方改革を教育現場にマッチングさせるためには学校のみならず学校法人への理解と協力を求めながら進める必要がある。教育活動は常に学生ファーストを念頭に置き、様々な改善が学生の満足度低下につながらないよう活動する。	教育の領域は多岐に渡る時代である。学校全体での努力は認められるので PDCA サイクルを利用した恒久的な取り組みを見守りたい。

< 大項目基準4 学修成果 >

◆点検中項目 13 就職率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-13-1 就職率の向上が図られているか	卒業時の求職者就職率は目標に到達しつつある。キャリア教育行事である就職説明会は全学年参加型であり、就職に関する意識づけとして効果的な就職率向上とキャリア教育活動の主軸になっている。	

◆点検中項目 14 資格・免許の取得率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	最終学年では総合試験結果に準じた学力対策を実施している。各学科・学年単位での学力対策も担任が中心となり毎年の改善を試みながら早期に対応するよう努めている。	既卒者の資格取得率向上に向けた取り組みが課題となる。

◆点検中項目 15 卒業生の社会的

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	学内職員に同窓会担当を配置して同窓会活の活性化を通じた卒業生支援に努めている。 入試広報課も同窓会へ協力して卒業生紹介冊子「ケガお役立ちガイドブック」が完成した。地域の高校へも配布している。	

基準4 大項目総括	学校関係者評価
同分野の養成校や試験合格率の全国平均比較から、改良・改善に向けた取り組みを継続する。学修成果は資格取得率として結果に表れるものであるため目標数値を具体的に設定して取り組む。	職業教育の場として求められる資格取得と就職支援の両輪について、バランスが崩れないよう留意する。 就職支援は就職率に目が向きがちであるが、社会的話題にもあがる早期離職防止へのキャリア教育にも目を向ける必要がある。

< 大項目基準5 学生支援 >

◆点検中項目 16 就職等進路

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職支援に対して専任教員を担当として設置している。 担当教員の工夫と努力により、卒業時の就職内定率は目標値を達成することができている。	

◆点検中項目 17 中途退学への対応

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の原因となる主要因（学業成績不振）への対策として、試験結果に応じた補習活動を実施している。 また保護者からの支援を得るよう必要に応じて電話連絡や面談も実施している。	初年次の退学予防の取り組み強化が必要である。

◆点検中項目 18 学生相談

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	各学科担任制を敷き、年度始めの面談から諸問題に関する学生相談を随時行いながら対応している。教員の介入が難しい場合にも、スクールカウンセラーによる「心の相談室」を設置することでバックアップ体制を敷いている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	※留学生の受け入れは現状行っていない。	本校で取得する資格特性を踏まえると現状での受け入れは難しい。

◆点検中項目 19 学生生活

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	公的支援制度への対応も含めた学生の就学に関する相談窓口として事務局に支援担当を配置している。本校 HP「学費サポート」を掲載して周知に努めている。 事務局職員が親身になって相談にのっている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	毎年年度始めに学生健康診断を実施している。校医と連携して学生の健康相談に応じる体制を確保している。 コロナは落ち着いてきたが、季節性インフルエンザの校内での拡大予防は毎年継続して取り組む。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の設置はないが、遠方からの通学や学校近隣でアパート等を借りる場合の定額支援や不動産業者への紹介等の支援を実施している。 ※遠距離通学者サポート制度	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学友会を中心に教員も協力して各種クラブの課外活動を支援している。学友会活動をサポートする教員も配置して支援に努めており、体育祭や各種イベントの充実にも貢献している。	

◆点検中項目 20 保護者との連携

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	校友会総会・保護者会の開催により連携体制を構築している。また毎月の学校情報をメールで保護者に配信する取り組みも行っている。出席状況報告や気になる学生保護者への連絡なども教務部全体で取り組んでいる。	

◆点検中項目 21 卒業生・社会人

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会を中心に各種講習会・講演会を開催して卒業生の活動を支援している。学内職員に同窓会担当を配置して協力体制を構築している。年度末の同窓会総会では多くの同窓生が参加するものにできた。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	産学連携強化のための特別授業や外部実習の取り組みを進めている。柔道整復学科に引き続き、鍼灸学科も外部実習導入に向けた取り組みを始めている。	学校所在地域の連携事業所確保に取り組む。
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	全日制への移行から社会人入学者は減少傾向にある。時間割の工夫や既履修単位の積極的な認定により社会人が働きながら資格を取得できる体制整備に努力している。社会人対象の入学金サポート制度による支援を行っている。	令和6年度入学者募集における社会人入学者の割合は比較的堅調であった。

基準 5 大項目総括	学校関係者評価
学生支援については学業面・心身の健康面・生活面などの多岐にわたる。教務部と事務局を含めた全員体制に保護者や外部有識者（カウンセラー・学校医）も加え、安心して学生が通学できる学校づくりを継続する。	職業教育以外にも社会との懸け橋となる場所として、社会人・職業人として身につけるべき仕組みや法制度・社会の動きや問題にも関心を寄せる情報提供にも取り組まれると良い。

< 大項目基準6 教育環境 >

◆点検中項目 22 施設・設備等

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設・設備のメンテナンスは劣化・破損・故障の状況により順次対応している。複数年かけながら本館・2号館の外壁工事を終えるに至っている。今後も計画的な整備を進めたい。	法人本部と協議を継続して中長期のメンテナンス計画と予算の確保・積立を実行する。

◆点検中項目 23 学外実習・インターンシップ等

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	柔道整復学科における外部臨床実習の取り組みは徐々に充実してきている。鍼灸学科も外部実習に向けて準備を進めているが、外部実習指導者の確保が継続の課題である。	実施体制の充実化を図りたい。

◆点検中項目 24 防災・安全管理

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災マニュアル・地震防災計画を備えている。毎年 9 月に全学年を対象とした防災・避難訓練を実施している。 学生数に対応できる災害時の備品保管スペースの確保が必要になる。	職員全体での防災意識向上に取り組む。
小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	複数教員での実技授業や助手を配置することで安全管理に努めている。また保険による学生 24 時間サポートを取り入れて学生に予期せぬトラブルがあった場合の支援ができるようにしている。	

基準 6 大項目総括	学校関係者評価
施設・設備の劣化や故障には可能なところから順次改修に努めている。法人の協力を仰ぎながら外壁や空調等の大きな工事を終了することができたことは成果である。引き続きの連携により予算確保や積立等による計画的な修理・修繕ができるようにする。	学校法人と協力した施設設備の改修や充実化に向けて積極的な動きがうかがわれる。引き続き学生が安心安全に教育を受けられる環境づくりを継続してもらえればと考える。

< 基準7 学生の募集と受入れ >

◆点検中項目 25 学生募集と受入れ

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	入試広報課職員の各高校進路課への定期訪問や高校教員対象の学校説明会の実施により本校教育活動の情報提供を行っている。また本校に入学した学生の近況報告にも努めている。中学生への職業教育・上級学校教育にも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	事務局に入試広報課を配置して計画的に学生募集に取り組んでいる。学院長の統率のもと全職員が募集活動にも意識を持って取り組む体制が浸透している。	

◆点検中項目 26 入学選考

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	本校の入学選考基準は、募集要項に明記されている。またオープンキャンパスにおいて募集概要と入学選考について説明している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	高校新卒入学内定者への入学前授業を実施しており、選考実績と合わせて入学内定者の状況把握に努めている。	専任教員間での把握度合に差をなくせるようにする。



◆点検中項目 27 学納金

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金に関する変更はなく、学納金に関する記載は募集要項・学生便覧・ホームページを通じて周知に努めている。 今後は社会経済の変化に合わせた変更も視野に入れる必要が出てくる可能性もある。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者の納付金返還は入試要項に記載して明確に実施している。	

基準 7 大項目総括	学校関係者評価
感染症動向は落ち着いたものの、国際紛争の影響からくる世界経済への打撃は物価高騰という結果で跳ね返っている。物価高騰の波は今後の高校生進路動向にも変化を与える可能性もあるため、状況を見極めて充分に対応できる募集計画と学校運営に心掛ける。	社会変化や少子化等、学生募集においては苦慮されることも多いかと思う。しかし、将来的な業界への人材輩出という役割を担う養成校として、今後も綿密な計画のもと学生募集を進められることを期待する。

< 大項目基準8 財務 >

◆点検中項目 28 財務基盤

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	法人運営については評議員会・理事会により定期的に確認がなされている。法人より具体的な長期計画示されれば、その計画を軸として学校運営に落とし込むことも可能になる。	私立学校法の改正に対応する。
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	法人本部および理事会にて実施されている。学内での財務分析は学院長を中心として部長会、事務局で執り行っている。	

◆点検中項目 29 予算・収支計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	学院長の掲げた第一期中期計画を柱に学内に設置する会議や委員会で策定を行ってきた。令和6年度からの第二期でも継続して計画的な活動を行う。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算計画は法人本部のヒアリングをもとに本部による最終確定が行われる。確定した年度予算を事務局が中心となり執行管理を行っている。事務局と法人本部との綿密な連携により管理ができています。	

◆点検中項目 30 監査

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	会計監査は理事会にて監事が適切に実行している。	

◆点検中項目 31 財務情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務情報をホームページ上で公開している。 今後行われる私立学校法の一部改正にもしっかりと対応して行きたい。	

基準 8 大項目総括	学校関係者評価
財務基盤安定化は教育活動の改善・充実の根幹となる。 法人本部と学校との定例協議の場も連携強化への効果を示しており、引き続き学校としての役割を十分に果たすことができるようにして取り組んで行きたい。	学校運営を計画的に行っており、財務基盤も安定化に向いているように評価する。私立学校法改正の動きもあるので、そこに順応をしながら学校法人とも協力し、新たな将来ビジョンの創造と目標達成への活動が期待される。

< 基準9 法令等の遵守 >

◆点検中項目 32 関係法令・設置基準等の遵守

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	学校教育法・専修学校設置基準・各種養成施設指定規則・関係法令を遵守し、適切に運営されている。	

◆点検中項目 33 個人情報保護

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	事務局・電算管理室を中心に個人情報保護対策に努めている。学生便覧内に利用目的の達成に必要な範囲を超えた取り扱いはしないことを明記している。	

◆点検中項目 34 学校評価

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価体制は整備されているが、より良い改善活動を目標に全職員参加型の体制構築に向けて取り組みたい。学校職員では法人本部の関係する部分について明確に把握評価できないので法人からも評価協力体制があるとよい。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上で公開している。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	外部委員（卒業生・各業団関係者・有識者）による学校評価 専門部会を開催し、学校関係者評価を行っている。	全職員が同じ目線で学校活動を理解できるようにしたい。
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上 で公開している。	

◆点検中項目 35 教育情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育活動における取り組みや情報は、入試広報課により本校 ホームページ上や各種ネットワークサービスを通じて積極的 な公開に努めている。	

基準 9 大項目総括	学校関係者評価
学校全体を通して法令等遵守に努めており、職員全体でもその意識は高く 持って教育活動に臨んでいる。また職業実践専門課程の認定校としての 情報開示にも努めている。	各所轄の管理指導に沿った学校運営により、地域のみならず社会的にも 信頼性の高い学校としてさらに認知度が向上するよう努められたい。

< 大項目基準10 社会貢献・地域貢献 >

◆点検中項目 36 社会貢献・地域貢献

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域社会貢献活動については、地元の中学校～高校のキャリア教育活動への協力に始まり、地域行事に関する本校施設および駐車場貸出などにも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	取得する資格特性もあり国際交流はなかなか行うことが困難である。	

◆点検中項目 37 ボランティア活動

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	外部からの依頼に応えるよう取り組んでいるが、組織的なボランティア支援体制は整えられていない。教員が個々で対応していることもある。	

基準 10 大項目総括	学校関係者評価
社会貢献、地域貢献は学校として恒久的に取り組んでいくべきものである。教育分野（小・中・高）への対応は常に取り組めているので、社会・地域に広げられるよう努めたい。ボランティアの奨励は今後の課題である。	各種業団における社会や地域における貢献活動があれば、学校にも積極的に協力を呼び掛けるようにする。

最終更新日付	令和6年6月1日	記載責任者	鈴木 康仁
--------	----------	-------	-------